

船舶活用医療に関する予算要求の概要

船舶活用医療の実効性、有効性を向上させるための経費として、以下の事項に必要な予算を要求

- ①活動要領に基づき船舶を活用した実践的な訓練を行う。
- ②過去の災害の被害状況を踏まえ、船舶活用医療に必要な機能、体制等を検討・分析する。
- ③災害発生時に迅速かつ確に船舶活用医療の体制を整えるため、必要な資器材を確保する。

↳ 船舶活用医療の令和7年度中の運用開始を目指す。



令和7年度 概算要求事業（当初予算）

①船舶を活用した実動訓練

- ・船舶活用医療を的確かつ迅速に実施していくためには、船舶活用医療に従事する関係者が共通の理解のもと、活動要領に基づく実践・訓練を継続して実施し、練度向上とともに改善点等を確認していくことが必要である。
- ・そのため、大規模災害の発生を想定し、実際の船舶を活用して活動要領に基づく実動訓練等を通じた検証を実施する。



令和6年度 補正予算要求事業

②船舶活用医療の体制構築に向けた調査検討（過去の大規模災害を踏まえた検証）

- ・政府による船舶活用医療の実績がないため、過去の大規模災害における被害状況等を分析・検討したうえで、船舶活用医療に必要な機能、体制、課題などを検証し、より実行性・有効性の高い運用体制を構築する。

【分析・検討事項】

被災状況（死傷者、ライフライン、道路、港湾、病院等）、船舶による支援の状況、被災地から想定される支援ニーズの検討、船舶による医療提供の可能性と実施するための課題 等

③船舶活用医療のための資器材等の購入

- ・令和7年度中に船舶活用医療の運用が開始できるようにするためには、船舶で医療活動を実施するための資器材の確保が不可欠であり、予見が出来ない大規模災害の発生に備えるためには、できるだけ早期に調達等する。

購入する資器材等

船舶に固縛ができるテント、エアベッド、船舶内における通信環境を確保するための衛星通信機器 等

